

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【公表番号】特表2003-530463(P2003-530463A)
 【公表日】平成15年10月14日 (2003.10.14)
 【出願番号】特願2001-575443(P2001-575443)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 9/00 (2006.01)

H 0 1 B 3/00 (2006.01)

H 0 1 Q 15/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 9/00

H 0 1 B 3/00 A

H 0 1 Q 15/08

【手続補正書】
 【提出日】平成20年2月20日 (2008.2.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 マイクロ波透過性ポリマーを含むマトリックス材料と、
 前記マトリックス中に分散した 1 ~ 65 体積 % の粒状充填剤と、
 を含む複合材料であって、前記粒状充填剤が、
 前記充填剤粒子上の 5 ~ 500 nm 厚の導電性コーティングと、
密度が 3.5 g / cc 未満であり、最大寸法が約 0.5 mm 未満である回転楕円体お
よび楕円体から選択され、最小寸法が 100 μm 未満でありアスペクト比が約 2 : 1 を超
える粒子と、
1.2 ~ 100 の間の複合材料誘電率および 1 GHz において 0.10 以下の複合材
料マイクロ波損失正接の組合せを得るのに十分な粒度およびコーティング厚さの組合せと
 、
 を特徴とする複合材料。

【請求項 2】 前記複合材料の誘電率の約 5 % 以内 の誘電率を得るのに十分な量の粒
 状チタン酸バリウムを前記粒状充填剤の代わりに使用したことを除けば前記複合材料と同
 一である対照複合材料の密度の約 95 % 未満の密度を前記複合材料が有する請求項 1 に記
 載の複合材料。

【請求項 3】 前記粒状充填剤の前記導電性コーティング上に実質的に電気絶縁性の
 コーティングをさらに含む請求項 1 または 2 に記載の複合材料。

【請求項 4】 前記充填剤が 10 ~ 350 μm の範囲内の平均粒度のマイクロスフィ
アを含み、前記充填剤粒子上の導電性コーティングが、アルミニウム、ステンレス鋼、チ
タン、およびタングステンからなる群より選択される金属を含む、請求項 1、2 または 3
に記載の複合材料。